

## 電子・オンライン教材の作成支援プログラム

吉田, 素文  
九州大学附属図書館

<http://hdl.handle.net/2324/19901>

---

出版情報 : 2011-06-30. 九州大学高等教育機構教育改革企画支援室  
バージョン :  
権利関係 :

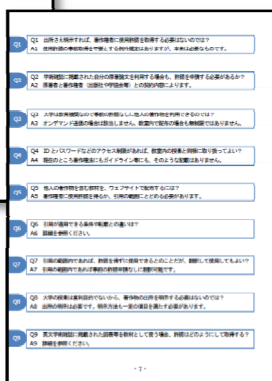
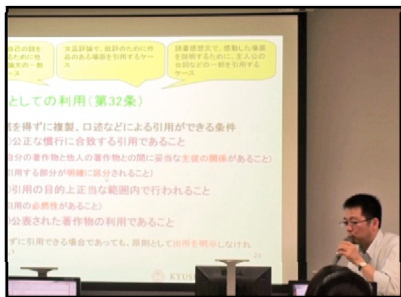
**取組名称：電子・オンライン教材の作成支援プログラム**  
**部局名：附属図書館**

## ○取組概要

電子・オンライン教材の活用による自律的学習者養成のため、教材作成支援のニーズ調査、ブックレット作成、支援体制の検討、FD、SD、学生教育プログラムの開発、実施などを行った。

## ● 取組の内容・ポイント

1. 汎用性の高いブックレット作成
2. FD、SDおよびニーズ調査
3. 全学における方針、組織体制等の検討
4. 教材の作成、利用における倫理的側面に関する学生教育プログラムの実施
5. 学外における人的ネットワーク構築、学外の関連団体、省庁などへの働きかけ
6. 取組評価



## ● 取組の成果

2年間の取組を通して、学内外に一定の教育ニーズや教材開発における事業ニーズがあることが明らかとなった。

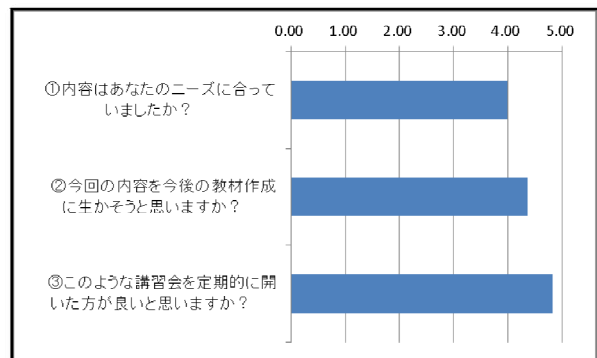
FD、SDの参加者からの疑問点などを基に教職員や学生用のブックレットを作成し、新入生全員と全教員に配布した<sup>※</sup>。

※機関リポジトリに登録されています。  
<https://qir.kyushu-u.ac.jp/dspace/handle/2324/19755>

学外の関連団体や省庁との意見交換の結果、今後は大学間の取組が必要となる可能性があることなど、近い将来、さらに新たな体制の整備や問題解決が待ち受けていることが認識できた。

いずれも附属図書館付設教材開発センターの活動における検討事項として今後取組みを継続する必要があると考える。

## ● 学内外からの評価



**Q. 今回の講習会を今後どんな方を対象に開くのがよいと思いますか?**

・講義担当者、教材作成を支援する事務員、院生、学生(入学したときに)

**Q. 今回の講習会で良かった点をご記入ください。**

・演習を行ったり、実例を使い討論できたこと

・国内外の著作権、及び教育現場と出版社の著作権の捉え方がよくわかった。